

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
ブ22	『菅原伝授手習鑑』初演役割 番付	資料					①延享3年8月 ③西尾市立図書館岩瀬文庫蔵
ブ22	『菅原伝授手習鑑』初演人形 番付	資料					①延享3年8月 ③文楽協会蔵
ブ22、375	『菅原伝授手習鑑』絵尽し	資料					③慶応義塾大学図書館蔵。『日本庶民文化史料集成』 第7巻（昭和50年10月・三一書房・芸能史研究会＝編） に収録
ブ22	菅原伝授手習鑑 道明寺齣	語釈	賽笠翁		瑠璃天狗	巻之一	①文化4年3月 ③大阪府立中之島図書館蔵。帝国文庫第10篇『紀海音/ 並木宗輔浄瑠璃集』全（昭和4年10月・博文館）等に収 録
ブ22	菅原伝授手習鑑 寺子屋齣						
	拾遺瑠璃天狗抜粋 菅原伝授手習鑑 寺子屋の段評 釈				浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第1・2・4号	①明治32年2・3・5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
473	附録 『菅原伝授手習鑑』	評論	近松研究会員 （伊原青々園・ 金子筑水・後藤 宙外・水口薇 陽・水谷不倒・ 平野栢蔭・綱島 梁川・坪内逍 遙）		近松之研究		①明治33年11月 ④春陽堂
	名士談海 第9～13回 「菅原伝授手習鑑」合評	研究	中村商海子		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第37・38・ 41～43号	①明治37年10月・38年1・6・7・9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	菅原伝授手習鑑	研究	坪内雄蔵＝著  逍遙協会＝編集		逍遙選集	第10巻	①昭和2年1月 ④和田俊彦＝発行、春陽堂＝刊行 ③逍遙の論のみ所収 ①昭和52年9月復刻 ④第一書房
	丸本略筋 （其一）菅原伝授手習鑑	梗概			演芸世界	第13・14号	①明治35年3・4月 ④演芸世界社
	附録 語方の実例 菅原伝授手習鑑 寺子屋の段	演出	岡鬼太郎		義太夫秘訣		①明治36年3月 ④服部書店 ③明治39年6月富田文陽堂より第2版、大正10年9月野村 青雲堂より第4版発行
					岡鬼太郎花柳文芸名作選		①昭和55年10月 ④鳳書院
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人 講釈』を収録

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
443	堀江座に於ける菅原伝授手習鑑素人評	劇評	中村商海子		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第46号	①明治39年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治39年1月堀江座所演
	菅原伝授手習鑑 * 佐太村の段に就いて * 寺子屋の段に就いて * 松王屋敷の段に就いて	解説	竹本其太夫	鶴沢名門二	浄曲/百段 語り物の訳		①明治39年4月 ④其中堂書店
79、カ195	「菅原」の大序	芸談	すの字	吉田国五郎	(第一次) 歌舞伎	第73号	①明治39年5月 ④歌舞伎発行所
	菅原伝授手習鑑について	解説	千種堂嫦娥		演芸画報	第1年 第9号	①明治40年9月 ④演芸画報社
	学海翁寺子屋の狂言を敲き壊す	評論	商海小僧		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第63号	①明治41年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	手習鑑の三人格と個性論	研究	一瓢生		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第69号	①明治41年10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③以下次号とあるが未見
	講義 菅原伝授手習鑑寺子屋の段	解説	本郷竹陰		浄瑠璃文庫	第1巻 7号	①明治42年8月 ④日本浄曲会 ③語釈あり、次号に続くとあるが詳細未見
	堀江座の四月興行惣稽古概報	批評	吟翠		浄瑠璃文庫	第14号	①明治43年4月 ④日本浄曲会
443	堀江座四月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第85号	①明治43年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治43年4月堀江座所演
56、79、 227、ブ10	大阪御霊文楽座を觀る	劇評	清潭生		演芸画報	第5年 第4号	①明治44年4月 ④演芸画報社 ③明治44年2月御霊文楽座所演
	講壇 菅原伝授手習鑑 道明寺の段	研究	樋口吾笑		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第113~125 号	①大正2年1~12月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
443、554	近松座の四月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第116号	①大正2年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正2年4月近松座所演
	第一種 菅原伝授手習鑑 松王屋敷の段	梗概 批評	徳島県教育委員会		義太夫調査書		①大正2年4月 ④徳島県教育委員会 ③『浪花/名物 浄瑠璃雑誌』第381号に収録
	第二種 菅原伝授手習鑑 桜丸切腹の						
	文楽座の二の替	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第128号	①大正3年2月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正3年2月御霊文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	舞台鑑察手引草 松王丸	解説	杉賈阿弥		演芸画報	第8年 第2～6号	①大正3年2～6月 ④演芸倶楽部 ③歌舞伎の型
172、力196	松王丸（菅原伝授手習鑑）				舞台鑑察手引草		①大正7年6月 ④玄文社
							①昭和32年11月 ④演劇出版社
473	文楽座の初春興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第151号	①大正5年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正5年1月御霊文楽座所演
	近松座四月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第154号	①大正5年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正5年4月近松座所演
	直評		宇野山利				
443	京都竹豊座五月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第167号	①大正6年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正6年5月京都竹豊座所演
	芝居と史実 菅公と時平	解説	佐々酔雪		演芸画報	第4年 第5号	①大正6年5月 ④演芸倶楽部
	浄瑠璃と操り芝居 第九章 義太夫節浄瑠璃の興衰 昌隆時代の四十年 * 礼拝齋戒して勤めた『菅原伝授手習鑑』	参考	秋山木芳（清）		義太夫大鑑	上巻	①大正6年12月 ④満州日日新聞社
			近世文芸研究叢書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇23 浄瑠璃3		①平成9年8月 ④クレス出版 ③秋山木芳『義太夫大鑑』を収録
	浄瑠璃と操り芝居 第九章 義太夫節浄瑠璃の興衰 昌隆時代の四十年 * 合作浄瑠璃の長所と短所を併せ見るべき適例『菅原伝授手習鑑』 第十一章 江戸に於ける義太夫節 * 菅原伝授手習鑑の大當り	研究	秋山木芳（清）		義太夫大鑑	上巻	①大正6年12月 ④満州日日新聞社
			近世文芸研究叢書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇23 浄瑠璃3		①平成9年8月 ④クレス出版 ③秋山木芳『義太夫大鑑』を収録
172	第三章 語り方の理論 理論の応用＝先人の遺訓 * 豊竹呂太夫の芸談	芸談	秋山木芳（清）	《2》豊竹呂太夫	義太夫大鑑	下巻	①大正6年12月 ④満州日日新聞社 ③寺子屋の「はしごくて」
			近世文芸研究叢書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇23 浄瑠璃3		①平成9年8月 ④クレス出版 ③秋山木芳『義太夫大鑑』を収録

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
443、554	文楽座一月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第175号	①大正7年2月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正7年1月御霊文楽座所演
56、79、 149、227	菅原伝授手習鑑 三段目切 佐太村の段	演出	杉山其日庵（茂丸）		黒白	52号	①大正10年7月 ④黒白発行所
					浄瑠璃素人講釈		①大正15年12月 ④黒白発行所 ③昭和50年3月鳳出版より復刻
			近世文芸研究叢書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講釈』を収録
			杉山其日庵＝著 /内山美樹子・ 桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	(上)	①平成16年10月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈付載
	新富座の人形浄瑠璃を観る	劇評	かつらや主人		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第223号	①大正12年9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正12年7月東京新富座所演
56、79、 125、158、 227、ブ10	菅原伝授手習鑑 四段目切 寺子屋の段	演出	杉山其日庵（茂丸）		黒白	77号	①大正12年8月 ④黒白発行所
					浄瑠璃素人講釈		①大正15年12月 ④黒白発行所 ③昭和50年3月鳳出版より復刻
			近世文芸研究叢書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講釈』を収録
554			杉山其日庵＝著 /内山美樹子・ 桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	(上)	①平成16年10月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈付載
	P夫人へ 一 車引	解説	伊原青々園		棧敷から書齋へ		①大正13年7月 ④玄文社
ブ10	『菅原伝授手習鑑』の作者	研究	間民夫		歌舞伎研究	4	①大正15年9月 ④歌舞伎出版部
227	演劇的に見た文楽の「寺子屋」	評論	三宅周太郎		演劇評話		①昭和3年3月 ④新潮社 ③昭和2年4月弁天座の《3》竹本津太夫と大正15年12月東京邦楽座の《2》豊竹古朝太夫
	文楽を見る（上）	劇評	濱村米蔵		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第272号	①昭和3年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和3年7月東京新橋演舞場所演。（下）の記事不可知

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	血の出るやうな難行苦行記	芸談	木谷蓬吟		文楽今昔譚		①昭和4年12月 ④『道頓堀』編集部 ③《6》染太夫の工夫
					文楽史		①昭和18年2月 ④全国書房
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇21 浄瑠璃1		①平成9年8月 ④クレス出版 ③木谷蓬吟『文楽今昔譚』『浄瑠璃史』を収録
	文楽新聞評抜粋 一、昭和三年七月 新橋演舞場第一回 批評と追悼 *人形浄瑠璃と芝居との「賀 の祝」	劇評	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③昭和3年7月東京新橋演舞場所演
					続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。『新編続文楽の研究』（昭和23年6月改 定初版・創元社・創元選書84）、『定本続文楽の研 究』（昭和27年6月・創元社・創元文庫）、『続文楽の 研究』（昭和29年9月・角川書店・角川文庫）、『続文 楽の研究』（平成17年9月・岩波書店・岩波文庫）にも 収録
	文楽新聞評抜粋 三、昭和四年七月 その第五回 下手な旧劇より は	劇評	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③昭和4年7月東京新橋演舞場所演（短評）
287	身代わり物としての「寺子 屋」	研究	黒木勘蔵		近世演劇考説		①昭和4年11月 ④六合館
					近松以後		①昭和17年9月 ④大東出版社 ③大東名著選42
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇26 浄瑠璃6		①平成9年8月 ④クレス出版 ③黒木勘蔵『近世演劇考説』を収録
	八月の文楽感	劇評	黒頭巾		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第294号	①昭和5年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和5年8月四ツ橋文楽座所演
	若手の文楽座						
	文楽の浄るり	劇評	安部豊		演芸画報	第24年 第9号	①昭和5年9月 ④演芸画報社 ③昭和5年8月東京東京劇場所演（素浄瑠璃）
	文楽五月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第303号	①昭和6年7月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和6年5月四ツ橋文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	東上の人形一座	劇評	岡鬼太郎		歌舞伎と文楽 岡鬼太郎花柳文芸名作選		①昭和18年5月 ④三田文学出版部 ③昭和6年7月東京明治座所演 ①昭和55年10月 ④鳳書院 ③復刻版
力195	人形芝居の味 文楽絶賛 栄えぬ人形遣ひ	解説 評論 芸談	三島霜川 白井喬二 《1》吉田栄三		演芸画報	第25年 第8号	①昭和6年8月 ④演芸画報社
	二月の文楽座 文楽座のぞき	劇評	浪花の長田泉雲 投		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第309号	①昭和7年2月力 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和7年2月四ツ橋文楽座所演
	出雲の作品	研究	守随憲治		海音・出雲・半二		①昭和7年7月 ④岩波書店 ③岩波講座 日本文学14
	総動員の人形浄瑠璃 歌舞伎座の師走興行	劇評	安部豊		演芸画報	第28年 第1号	①昭和9年1月 ④演芸画報社 ③昭和8年12月東京歌舞伎座所演
	文楽見たまゝ聞いたまゝの記	劇評	金光明川		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第329号	①昭和9年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和8年12月東京歌舞伎座所演
	第一編 芸の生涯 三、文楽座時代 *道明寺と判内 五、引退から終焉 *越路、大隅の稽古	芸談	木谷正之助（蓬 吟）		五世竹本弥太夫 芸の六十 年		①昭和9年10月 ④私家版 ③明治17年9月御霊文楽座、弥太夫の「丞相名残」
	第二編 人物と芸格 一、弥太夫の人と芸と 一、三人笑ひ 四、温厚と厳正			《3》竹本津太 夫 竹本角太夫 （《5》竹本重 太夫） 《7》野沢吉兵 衛			③「道明寺」の感想 ③弥太夫の寛寿
	九、驚き入った『つらだまし ひ』			《4》鶴沢叶 （《2》鶴沢清 八） 三木魚勢 小西威京			③弥太夫の寛寿 ③弥太夫の寛寿
443	一七、弥太夫風九曲の解剖 *菅原 道明寺の段 一、提灯と弥太夫式教育 七、真世話も大時代も						③弥太夫の寛寿 ③弥太夫の寛寿
	文楽座一月の外題と役割に就 いて	記事			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第337号	①昭和10年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和10年1月四ツ橋文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽座人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第29年 第8号	①昭和10年8月 ④演芸画報社 ③昭和10年7月東京明治座所演
473	菅原道真	史実	藤井甚太郎		類/聚伝記 大日本史	第4巻 忠臣志 士篇	①昭和10年7月 ④雄山閣 ③昭和56年2月雄山閣出版より復刻版
473	藤原時平	史実	桜井秀		類/聚伝記 大日本史	第1巻 公卿篇	①昭和10年10月 ④雄山閣 ③昭和56年1月雄山閣出版より復刻版
ブ10	文楽の人形浄るり	劇評	安部豊		演芸画報	第30年 第9号	①昭和11年9月 ④演芸画報社 ③昭和11年7月東京歌舞伎座所演
	名人!!名人を語る 久方ぶりの 文楽を聴きたる	感想	《5》中村歌右 衛門		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第354号	①昭和11年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和11年7月東京歌舞伎座所演
	干支丑年に困んだ語物	随筆	今是非楼		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第356号	①昭和12年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	文楽座正月興行	劇評					③昭和12年1月四ツ橋文楽座所演
	古靱の「寺子屋」・津の「橋 本」	劇評	升屋治三郎		劇場	第2巻 第2号	①昭和12年1月 ④劇場社 ③昭和12年1月四ツ橋文楽座所演
	文楽座の人形浄瑠璃 土佐太夫引退興行	劇評	安部豊		演芸画報	第31年 第7号	①昭和12年7月 ④演芸画報社 ③昭和12年6月東京明治座所演
	批評と追悼 * 土佐太夫の引退	評論	三宅周太郎		続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。昭和12年6月東京明治座所演。『新編続 文楽の研究』（昭和23年6月改定初版・創元社・創元選 書84）、『定本続文楽の研究』（昭和27年6月・創元 社・創元文庫）、『続文楽の研究』（昭和29年9月・角 川書店・角川文庫）、『続文楽の研究』（平成17年9 月・岩波書店・岩波文庫）にも収録
ブ10	新橋演舞場の文楽人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第32年 第8号	①昭和13年8月 ④演芸画報社 ③昭和13年7月東京新橋演舞場所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	三、彦六時代 * 初代柳適さん	芸談	鴻池幸武＝編	《1》吉田栄三	吉田栄三自伝		①昭和13年11月 ④相模書房 ③昭和23年5月武智鐵二の序等を加え和敬書店より再版。《1》豊竹柳適太夫の「相丞名残」
56、79	* 初午芝居 八、借金の為明楽座へ * 源蔵の代役と知盛						③「配所」 ③明治34年1月の記事
56、79、 149	九、文楽座へ復帰 * 大隅さんの「佐太村」						③明治38年1月の記事
	十、松竹さんになってから * 最初の早替り						③《1》桐竹紋十郎の白太夫
443	* 大掾さんの「沼津」 * 楽屋の菅相丞						③明治44年2月の記事 ③相丞の人形
	* 平右衛門で工夫						③大正5年1月の記事
56、79、 172	* 初役の初右衛門 * 越路さんの「寺小屋」で初役の松王						③大正7年1月の記事 ③大正9年1月の記事
172	十二、四ツ橋の文楽座になってから * 珍しい「鬼界ヶ島」						③昭和5年1月の記事
	十三、芸談						③菅原の役
	批評と追悼 * 佳品「道明寺」	評論	三宅周太郎		続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。昭和14年3月東京明治座所演
481	四ツ橋文楽座 豊竹古靱太夫の寺子屋	劇評	鴻池幸武		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第382号	①昭和14年9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和14年5月四ツ橋文楽座所演
287	『寺子屋』見聞記（古靱と菊、吉）	評論	木谷蓬吟		浄瑠璃研究書		①昭和16年3月 ④第一書房 ③昭和14年5月四ツ橋文楽座所演
172	文楽座の寺子屋	劇評	武智鐵二		かりの翅		①昭和16年4月 ④千歳書房 ③昭和44年2月学芸書林より改訂再版発行。昭和14年5月四ツ橋文楽座所演
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	栄三の十郎兵衛	劇評	武智鐵二		かりの翅		①昭和16年4月 ④千歳書房 ③昭和44年2月学芸書林より改訂再版発行。「文楽座の寺子屋」追記
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房



上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
172、287	菊吉の寺子屋	参考	武智鐵二		かりの翅		①昭和16年4月 ④千歳書房 ③昭和44年2月学芸書林より改訂再版発行。昭和14年5月大阪歌舞伎座所演、初出＝「劇評」
					----- 定本・武智歌舞伎	②歌舞伎Ⅱ	①昭和54年3月 ④三一書房
ブ10	明治座の文楽聴観	劇評	安部豊		演芸画報	第33年 第9号	①昭和14年9月 ④演芸画報社 ③昭和14年8月東京明治座所演
	浄瑠璃を打毀す人形		齋藤拳三				
	「笑ひ五年」に「泣き七年」 浄瑠璃のコツはこゝ	芸談	黒崎貞治郎	《3》竹本津太夫	芸談百話		①昭和15年2月 ④博文館 ③時平・松王の笑い
	明治座の人形芝居	劇評	安部豊		演芸画報	第34年 第9号	①昭和15年9月 ④演芸画報社 ③昭和15年8月東京明治座所演
481	人形芸談 *「芝居」と「人形」	芸談	三宅周太郎	《1》吉田栄三 ・《3》吉田文 五郎（吉田難波 掾）	改造 ----- 続文楽の研究	第22巻 第20号	①昭和15年11月 ④改造社 ①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。『新編続文楽の研究』（昭和23年6月改定初版・創元社・創元選書84）、『定本続文楽の研究』（昭和27年6月・創元社・創元文庫）、『続文楽の研究』（昭和29年9月・角川書店・角川文庫）、『続文楽の研究』（平成17年9月・岩波書店・岩波文庫）にも収録
	菅原伝授手習鑑	現代 語訳	藤村作		物語近世文学	第8巻浄瑠璃 名作集	①昭和15年12月 ④雄山閣 ③解説付載
ブ10、517	『寺子屋』の語り口	芸談	山口廣一	《2》豊竹古靱 太夫（豊竹山城 少掾）	上方	第121号	①昭和16年1月 ④創元社 ③昭和46年1月新和出版社より復刻版
56、79、 149	『白太夫』覚書	研究	嶋澤孝輔（大西 重孝）		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第398号	①昭和16年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和16年2月四ツ橋文楽座所演、《1》吉田栄三の白太夫
	栄三の舞台 菅原伝授手習鑑 佐太村の段 —栄三の白太夫—		大西重孝		文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③『浪花/名物 浄瑠璃雑誌』掲載のものに人形扮装表と浄瑠璃本文を併載
	菅丞相の文献	考証	安部豊		演芸画報	第35年 第4号	①昭和16年3月 ④演芸画報社
481	人形を中心に—東上の文楽瞥 見—	劇評	内田富太郎		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第401号	①昭和16年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和16年7月東京新橋演舞場所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	出雲の浄瑠璃	研究	守随憲治		義理 守随憲治著作集	第4巻	①昭和16年7月 ④甲鳥書林 ①昭和54年2月 ④笠間書院 ③『義理』を収録
	文楽座人形芝居見物 文楽第一回	劇評	山西元明		演芸画報	第35年 第8号	①昭和16年8月 ④演芸画報社 ③昭和16年7月東京新橋演舞場所演
	寺子屋のいろは送りの解釈	研究	吉永孝雄		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第404号	①昭和16年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	批評と追悼 *「寺子屋」研究—芝居と人 形浄瑠璃との比較研究	研究	三宅周太郎		続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。『新編続文楽の研究』（昭和23年6月改 定初版・創元社・創元選書84）、『定本続文楽の研 究』（昭和27年6月・創元社・創元文庫）、『続文楽の 研究』（昭和29年9月・角川書店・角川文庫）、『続文 楽の研究』（平成17年9月・岩波書店・岩波文庫）にも 収録
	寺子屋雑記	研究	高谷伸		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第406号	①昭和17年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
79、227、 502	芸談 文楽鑑賞（二） 「道明寺」菅原伝授手習鑑 菅原伝授手習鑑 二段目『道明寺』	芸談	山口廣一	《6》鶴沢友次 郎	演芸画報 文楽の鑑賞	第36年 第3号	①昭和17年3月 ④演芸画報社 ①昭和19年1月 ④畝傍書房 ③昭和25年4月雪月花書房より再版
	かくて文楽座は新展開する— その三月興行を見て—	劇評	六田甲二		演芸画報	第36年 第4号	①昭和17年4月 ④演芸画報社 ③昭和17年3月四ツ橋文楽座所演
	古靱の道明寺	評論	高安吸江		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第410号	①昭和17年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和17年5月京大主催「文楽研究会」による論文、以 下同
	道明寺雑感 端正なる熱演 道明寺聞書 漫評談 能の道明寺	参考	中野幸一 辻部政太郎 鴻池幸武 祐田善雄 森ほのほ				③『浪花/名物 浄瑠璃雑誌』第416号に追補あり
	鶴沢叶・聞書 *彌太夫さんのお稽古と「大 文字屋」	芸談	茶谷半次郎	《4》鶴沢叶 （《2》鶴沢清 八）	聞書 芸と文学 文楽聞書		①昭和17年6月 ④全国書房 ①昭和21年5月 ④全国書房

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第二章 戯曲形態論 二 操浄瑠璃系の戯曲形態 (七) 合作時代の戯曲形態 〔A〕時代物系の代表作2「菅原伝授手習鑑」の形態	研究	中村吉蔵		日本戯曲技巧論		①昭和17年7月 ④中央公論社
	第三章 戯曲構成論 一 操浄瑠璃系の戯曲構成 (一) 時代物系の戯曲構成 2 合作時代の代表作「菅原伝授手習鑑」と「仮名手本忠臣蔵」の構成形式						
	第四章 劇的局面論 一 時代物系の局面 (一) 身替り局面 1 宗教的動機の「身替り」						
	5 身替り物の典型						
	(二) 血族闘争の局面 6 典型的葛藤局面その他						
	第五章 劇的性格論 二 時代物系の劇的性格 (一) 操浄瑠璃系時代物の劇的性格 11 「菅原伝授手習鑑」の劇的性格						
	第六章 措辞論 一 操浄瑠璃系の文体 (二) 合作物の文体に就いて 2 「寺子屋」の措辞の一考察						
	鯉谷と新口村	劇評	武智鐵二		蜀犬抄		①昭和25年4月 ④和敬書店 ④昭和17年9月京都南座所演
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
473	近松以後名作解題 菅原伝授手習鑑	解説	黒木勘蔵		近松以後		①昭和17年9月 ④大東出版社 ③大東名著選42
	浄瑠璃の系統的研究 身代り物としての「寺子屋」	研究					
	文楽東京公演所産	劇評	鴻池幸武		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第416号	①昭和18年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和17年12月東京新橋演舞場所演、「道明寺聞書」 追補

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
56、79、 125、158、 172	寺子屋の衣裳	演出	吉永孝雄	吉田玉七	浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第417号	①昭和18年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和18年1月四ツ橋文楽座所演
481	古靱の『寺子屋』其他 文楽評切抜帳	劇評	鴻池幸武				
	芸談文楽鑑賞(十三) 『寺子屋』—菅原伝授手習鑑 四段目—	芸談	山口廣一	《2》豊竹古靱 太夫(豊竹山城 少掾)	演芸画報	第37年 第2号	①昭和18年2月 ④演芸画報社
56、79、 158、172、 227、576	四段目『寺子屋』				文楽の鑑賞		①昭和19年1月 ④畝傍書房 ③昭和25年4月雪月花書房より再版
	* 人形奇譚 * 奇縁	芸談	中村泰昌	《3》吉田文五 郎	文五郎芸談		①昭和18年2月 ④桜井書店 ③昭和22年10月改装版、昭和23年9月再版あり
					浄瑠璃名作集		①昭和36年3月 ④筑摩書房 ③古典日本文学全集25。昭和41年12月普及版
					生活の随筆	第7(職)	①昭和37年11月 ④筑摩書房
					芸術の思想		①昭和39年8月 ④筑摩書房
					浄瑠璃名作集		③現代日本思想大系第14。矢内原伊作＝編 ①昭和50年10月 ④筑摩書房
					日本の芸談	第3巻 能 狂言 文楽	③古典日本文学全集24 ①昭和53年12月 ④九藝出版 ③『山城少掾自伝』『文五郎芸談』を収録
	名作浄瑠璃解説 菅原伝授手習鑑	解説 梗概	《6》竹本住太 夫		文楽浄瑠璃物語		①昭和18年2月 ④正文館書店 ③《6》竹本住大夫文楽生活年表付載。「寺小屋の段」 本文と頭注付載
			《9》竹本文字 大夫(《7》竹 本住大夫)・佐 藤靄子		六代竹本住大夫		①昭和57年7月 ④青蛙房 ③「寺小屋の段」本文と頭注を削除して収録

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽生活四十年 * 吉田玉造さんの死と二代目 玉造さん * 師越路太夫の死と紋下 * 七代目文字太夫を継ぐ * 竹田出雲百七十年忌記念興 行と竹沢権右衛門追慕碑 * 焼失後の文楽生活 * 新築後の文楽	芸談	《6》竹本住太 夫		文楽浄瑠璃物語		①昭和18年2月 ④正文館書店 ③《6》竹本住大夫文楽生活年表付載
			《9》竹本文字 大夫（《7》竹 本住太夫）・佐 藤靄子		六代竹本住大夫		①昭和57年7月 ④青蛙房
	松王新考	参考	武智鐵二		浪花/名物 浄瑠璃雑誌 蜀犬抄 定本・武智歌舞伎	第417号  ②歌舞伎Ⅱ	①昭和18年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ①昭和25年4月 ④和敬書店 ①昭和54年3月 ④三一書房
56、79、 125、158、 172	『寺子屋』の松王丸	研究	大西重孝/齊藤 清二郎＝首小道 具解説・絵		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第417・419 号	①昭和18年3・6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和18年1月四ツ橋文楽座所演、《1》吉田栄三の松 王丸
	栄三の舞台 菅原伝授手習鑑 寺子屋の段 —栄三の松王丸—		大西重孝		文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③『浪花/名物 浄瑠璃雑誌』掲載のものに人形扮装 表・浄瑠璃本文を併載
ブ10	浄瑠璃/解註寺子屋（一）～ （三）	研究	吉永孝雄・佐野 愛子		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第417・ 419・422号	①昭和18年3・5・10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
56、79、 227、ブ10	『菅原伝授手習鑑』初演の太 夫、人形遣のことなど	解説	吉永孝雄		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第418号	①昭和18年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	松王拾遺	参考	武智鐵二		浪花/名物 浄瑠璃雑誌 蜀犬抄 定本・武智歌舞伎	第418号  ②歌舞伎Ⅱ	①昭和18年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ①昭和25年4月 ④和敬書店 ①昭和54年3月 ④三一書房
	新橋演舞場の文楽	劇評	安部豊		演芸画報	第37年 第8号	①昭和18年8月 ④演芸画報社 ③昭和18年7月東京新橋演舞場所演
	寺子屋管見	劇評	鈴木孝一		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第422号	①昭和18年10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和18年7月東京新橋演舞場所演
	文楽評切抜帳 昔の勉強	芸談	鴻池幸武	《1》鶴沢道八	道八芸談		①昭和19年1月 ④私家版 ③昭和62年11月ぺりかん社より復刊

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	菅原伝授手習鑑	解説	山口廣一		文楽の鑑賞		①昭和19年1月 ④畝傍書房 ③昭和25年4月雪月花書房より再版
	下の巻『合邦住家』	芸談		《2》豊竹古鞆 太夫（豊竹山城 少掾）			③湯を飲む個所
	菅原及び千本桜の作者研究	研究	園田民雄		浄瑠璃作者の研究		①昭和19年2月 ④東京堂
	吉田栄三と吉田文五郎	評論	安藤鶴夫		演劇界	第2巻 第8号	①昭和19年8月 ④日本演劇社
	栄三と文五郎				随筆舞台帖		①昭和24年5月 ④和敬書店
					安藤鶴夫作品集	Ⅲ芸	①昭和45年12月 ④朝日新聞社 ③平成9年3月復刻版
	人形 人形の構造 人形遣の名人 * 吉田文三郎	芸談		《2》桐竹紋十 郎	文楽の人形と三味線		①昭和19年10月 ④文楽研究会
	人形雑話 * 歌舞伎と人形						③《6》尾上菊五郎の松王について
	人形修業の半生 * 文楽復帰と役ゴテ						③「車場」の杉王
	三味線 思ひ出と芸談 * 調子をあげる場合			《4》鶴沢清三 郎（《1》鶴沢 藤蔵）			③「いろは送り」について
	第二章 決戦下の顔見世精進 一年、名残りの大歌舞伎— 「戦中観劇ノート」より * 古鞆の『道明寺』	劇評	山田庄一		上方芸能今昔がたり—昭和 の舞台覚え書き		①平成25年3月 ④岩波書店 ③昭和19年11月四ツ橋文楽座所演
	新春の文楽座—古鞆の寺子屋	劇評	三保土筆		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第425号	①昭和20年2月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和20年1月四ツ橋文楽座所演
	昭和二十年々頭の文楽座		五松園主人				
	栄三最後の舞台	劇評	大西重孝		幕間	第2巻 第12号	①昭和22年12月 ④和敬書店 ③昭和20年1月四ツ橋文楽座所演
	文楽と初代栄三 * 栄三最後の舞台				文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会
	菅原伝授手習鑑	史実	坂本辰之助		芝居と史実		①昭和22年1月 ④東照堂
79、227	文楽の『道明寺』	劇評	三宅周太郎		幕間	第2巻 第3号	①昭和22年3月 ④和敬書店
56、79、 149、375	文楽の『軍引』	演出	大西重孝				③昭和22年2月四ツ橋文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
502	古靱の『道明寺』	劇評	大西重孝		観照	第6号	①昭和22年4月 ④観照社 ③昭和22年2月四ツ橋文楽座所演
	「道明寺」と「河庄」	劇評	山口廣一		文楽	第2巻 第4号	①昭和22年5月 ④誠光社 ③昭和22年2月四ツ橋文楽座所演（短評）
	文楽人形物語 * 古靱の「道明寺」	劇評	三宅周太郎		新編文楽の研究		①昭和22年11月 ④創元社 ③創元選書40。昭和22年2月四ツ橋文楽座所演。『定本文楽の研究』（昭和27年5月・創元社・創元文庫）、『文楽の研究』（昭和29年9月・角川書店・角川文庫）、『文楽の研究』（平成17年8月・岩波書店・岩波文庫）にも収録
	松王の泣笑ひ	評論	中野孝一		観照	第8号	①昭和22年6月 ④観照社
	文楽引越興行	劇評	桂田重治		幕間	第2巻 第8号	①昭和22年8月 ④和敬書店 ③昭和22年7月京都南座所演
	研究と随筆 * 京都の文楽	劇評	三宅周太郎		新編続文楽の研究		①昭和23年6月改訂初版 ④創元社 ③創元選書84。昭和22年7月京都南座所演。『定本続文楽の研究』（昭和27年6月・創元社・創元文庫）、『続文楽の研究』（昭和29年9月・角川書店・角川文庫）、『続文楽の研究』（平成17年9月・岩波書店・岩波文庫）にも収録
	竹本綱太夫	芸談	三宅周太郎	《8》竹本綱太夫	幕間 ----- 芸能対談	第2巻 第11号	①昭和22年11月 ④和敬書店 ①昭和25年5月 ④創元社
	鶴沢友次郎	芸談	三宅周太郎	《6》鶴沢友次郎	幕間 ----- 芸能対談	第2巻 第12号	①昭和22年12月 ④和敬書店 ①昭和25年5月 ④創元社
	文楽の春芝居	劇評	沼艸雨		幕間	第3巻 第2号	①昭和23年2月 ④和敬書店 ③昭和23年1月四ツ橋文楽座所演
	豊竹古靱太夫改め豊竹山城少掾—文楽は亡びるか—	芸談	三宅周太郎	豊竹山城少掾	時論 ----- 芸能対談		①昭和23年2月 ④京都新聞社 ①昭和25年5月 ④創元社
	桐竹紋十郎	芸談	三宅周太郎	《2》桐竹紋十郎	幕間 ----- 芸能対談	第3巻 第9号	①昭和23年9月 ④和敬書店 ①昭和25年5月 ④創元社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	芝居の中の女性 XI老女のプロフィール 「川中島」の越路	鑑賞	高岡宣之		歌舞伎の女性		①昭和24年1月 ④新府書房
473	文楽の炬火衰えず	劇評	大西重孝		幕間	第4巻 第3号	①昭和24年3月 ④和敬書店 ③昭和24年2月四ツ橋文楽座所演
	歌舞伎百趣 57菅原伝授手習鑑「天満宮菜 種御供」「時平の七笑」	解説	堂本寒星		歌舞伎百趣		①昭和24年7月 ④河原書店 ③作・初演・梗概・解説
	四たび文楽を退座	芸談	茶谷半次郎	豊竹山城少掾	山城少掾間書		①昭和24年8月 ④和敬書店 ③明治30年3月の記事 ③大正11年3月の記事 ③大正13年1月初役の「道明寺」など ③昭和22年3月27日「道明寺」
79、227、 375	忘れ得ぬひとひと 住吉・堀江時代 掾位受領 「丞相名残り」について 浄曲秘訣(二)						③「寺子屋」での白湯
	若返った文楽	劇評	川口子太郎		演劇界	第7巻 第11号	①昭和24年11月 ④日本演劇社 ③昭和24年10月東京帝国劇場所演
	最高品の寺小屋	劇評	安藤鶴夫		安藤鶴夫作品集	III芸	①昭和45年12月 ④朝日新聞社 ③平成9年3月復刻版。昭和24年10月東京帝国劇場所演。初出＝「スクリーン・ステージ」
	文楽てんやわんや評	劇評	濱邊義三郎		幕間	第5巻 第4号	①昭和25年4月 ④和敬書店 ③昭和25年3月東京新橋演舞場所演
	舞台観察手引草/浄瑠璃素人講 釈対照「寺子屋」の研究	研究	武智鐵二(素人 講釈) ・戸部銀作(手 引草)＝注解		幕間	第5巻 第9～ 11号	①昭和25年9～11月 ④和敬書店
	浄瑠璃合作者考—並木宗輔の 浄瑠璃—	研究	森修		人文研究	第1巻 第12号・第2 巻第4号	①昭和25年12月・26年4月 ④大阪市立大学文学会
					浄瑠璃		①昭和59年11月 ④有精堂出版 ③日本文学研究資料叢書
172	関係作品	研究	近石泰秋		新註国文学叢書 浄瑠璃名 作集	上	①昭和25年12月 ④大日本雄弁会講談社
172	四段目切寺子屋の段について						



上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	批評と追悼 * 善夢悪夢の文楽	劇評	三宅周太郎		定本続文楽の研究		①昭和27年6月 ④創元社 ③創元文庫。昭和26年2月四ツ橋文楽座所演。『続文楽の研究』（昭和29年9月・角川書店・角川文庫）、『続文楽の研究』（平成17年9月・岩波書店・岩波文庫）にも収録
	文楽の上京	劇評	内海繁太郎		幕間	第6巻 第6号	①昭和26年6月 ④和敬書店 ③昭和26年5月東京新橋演舞場所演
	救われた文楽	劇評	三宅周太郎		演劇界	第9巻 第6号	①昭和26年6月 ④演劇新社 ③昭和26年5月東京新橋演舞場所演
	初春の文楽	劇評	安原楽水庵		幕間	第8巻 第2号	①昭和28年2月 ④和敬書店 ③昭和28年1月四ツ橋文楽座所演
	絶品の桜丸と狂乱の相丞	劇評	吉永孝雄		舞台展望	第19号	①昭和28年2月 ④舞台展望社 ③昭和28年1月四ツ橋文楽座所演
	文楽座初見参記—文楽座一月 興行—	劇評	原田矢絵子		歌舞伎評論	第2巻 第2号	①昭和28年2月 ④歌舞伎評論社 ③昭和28年1月四ツ橋文楽座所演
56、79、 158、172	文楽一夕話 寺子屋談義	芸談	《8》竹本綱大 夫		幕間	第8巻 第3・4・6 ・8号	①昭和28年3・4・6・8月 ④和敬書店
227、ブ 10、517	綱大夫図書室 * 寺子屋				芸談かたつむり		①昭和41年4月 ④布井書房
	あがく文楽	劇評	吉永孝雄		幕間	第9巻 第10号	①昭和29年10月 ④和敬書店 ③昭和29年9月四ツ橋文楽座所演
					吉永孝雄の私説昭和の文楽		①平成7年5月 ④和泉書院 ③近松研究所叢書2
	異例の盆替り興行	劇評	大西重孝		演劇界	第12巻 第11号	①昭和29年10月 ④演劇出版社 ③昭和29年9月四ツ橋文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	人形芝居の菅原	写真			演劇界	第12巻 第10号	①昭和29年10月 ④演劇出版社 ③増刊〈菅原伝授手習鑑〉。各段の舞台写真
	戯曲の跡を訪ねて	写真 解説					
力196	「菅原」私記 松王播磨守由来 各段研究 * 加茂堤について * 伝授場 * 道明寺 * 車曳 * 佐太村の悲劇 * 寺子屋私見 * 上演されない「手習鑑」の 場面—とくに「天拝山」の意 義について	研究 参考	河竹繁俊 山本修二 武智鐵二  山口廣一 戸板康二 濱村米蔵 安藤鶴夫 三宅三郎 郡司正勝				③『演劇寸史』（昭和33年7月・中外書房）に所収
56、79、 158	『菅原伝授手習鑑』の作者	研究	戸部銀作				
502	「手習鑑」前後 丞相、白太夫、松王丸 文楽 人形ノートより	演出	渥美清太郎 大西重孝				
172 227	『菅原伝授』の背景 文楽の「菅原」	考証 芸談	金沢康隆	《8》竹本綱大 夫			③史実と伝承 ③「道明寺」
56、79、 149、227	文楽の「菅原」						③「佐太村」
227	文楽の「菅原」 「菅原」の書誌	文献	山本二郎				③「寺子屋」 ③文献の短評
	文楽二座評	劇評	升屋治三郎		幕間	第10巻 第2号	①昭和30年2月 ④和敬書店 ③昭和30年1月三越劇場・四ツ橋文楽座所演
	新春・二座文楽の競演「曾根 崎心中」の復興を中心に	劇評	大西重孝		演劇界	第13巻 第2号	①昭和30年2月 ④演劇出版社 ③昭和30年1月四ツ橋文楽座所演
	三和会の若手勉強会 附無形文化財のこと	劇評	内海繁太郎		幕間	第10巻 第3号	①昭和30年3月 ④和敬書店 ③昭和30年2月東京三越劇場所演
	「菅原伝授手習鑑」人形衣裳	研究	内海繁太郎		芸術学	第3号	①昭和30年3月 ④日本大学芸術学会
	桜丸の性根	参考	武智鐵二		歌舞伎の黎明 定本・武智歌舞伎	②歌舞伎Ⅱ	①昭和30年7月 ④青泉社 ①昭和54年8月 ④三一書房

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	並木宗輔伝の研究—新資料写本「三原集」を中心とする考察—	研究	角田一郎		国文学研究	第13号	①昭和31年3月 ④早稲田大学国文学会
	新作ぞろい・因会	劇評	大西重孝		演劇界	第14巻 第4号	①昭和31年4月 ④演劇出版社 ③昭和31年3月道頓堀文楽座所演
	日本の芸術5	芸談	三島由紀夫	豊竹山城少掾	群像	第11巻 第5号	①昭和31年5月 ④大日本雄弁会講談社 ③「道明寺」「寺子屋」
443	日本の芸術 浄瑠璃				源泉の感情—三島由紀夫対談集		①昭和45年10月 ④河出書房新社
	桐竹紋十郎	芸談	安藤鶴夫	《2》桐竹紋十郎	舞台人		①昭和31年6月 ④読売新聞社 ③「寺子屋」の千代
	明治天皇とおはん	劇評	吉永孝雄		幕間	第12巻 第12号	①昭和32年12月 ④和敬書店 ③昭和32年11月道頓堀文楽座所演
473	菅原伝授手習鑑	劇評	吉永孝雄		幕間	第13巻 第6号	①昭和33年6月 ④和敬書店 ③昭和33年5月道頓堀文楽座所演
	菅原伝授手習鑑の研究について	研究	吉永孝雄		国語と国文学	第35巻 第10号	①昭和33年10月 ④至文堂
172	芹生の里	語釈	祐田善雄＝校注		日本古典文学大系	第99巻 文楽浄瑠璃集	①昭和33年11月 ④岩波書店 ③補注より摘録
	名作の舞台 菅原伝授手習鑑	解説 梗概	大西重孝・吉永孝雄＝解説/ 三村幸一＝写真		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③文楽座＝編 ③「軍曳」の松王丸の型
	人形の基本的な型 *カンヌキ	演出	大西重孝				③「軍曳」の梅王と桜丸の型
	*石投げ						③「軍曳」の松王丸の型
	*立見得						③「佐太村」の白太夫の型
	*あぶらや						
	文楽の常道 文楽座合同初春興行	劇評	沼艸雨		幕間	第15巻 第2号	①昭和35年2月 ④和敬書店 ③昭和35年1月道頓堀文楽座所演
	若衆劇の可能性	劇評	北岸佑吉		演劇界	第18巻 第2号	①昭和35年2月 ④演劇出版社 ③昭和35年1月道頓堀文楽座所演
	菅原伝授手習鑑	解説 梗概	三宅周太郎		演劇百科大事典	第3巻	①昭和35年10月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	菅原物	参考	三宅周太郎		演劇百科大事典	第3巻	①昭和35年10月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂
481	隙のない寺子屋	劇評	沼艸雨		幕間	第16巻 第2号	①昭和36年2月 ④和敬書店 ③昭和36年1月道頓堀文楽座所演
	早替り『忠臣蔵』と文楽の清元	劇評	北岸佑吉		演劇界	第19巻 第2号	①昭和36年2月 ④演劇出版社 ③昭和36年1月道頓堀文楽座所演
	菅原伝授手習鑑	現代語訳	宇野信夫＝訳		浄瑠璃名作集		①昭和36年3月、昭和41年12月普及版 ④筑摩書房 ③古典日本文学全集25。「文五郎芸談」所収。解説（宇野信夫）、「浄瑠璃の歴史」（守随憲治）、「文楽鑑賞」（岸田劉生）、「私説浄るりの鑑賞—「菅原」「千本桜」「忠臣蔵」を中心に」（郡司正勝）付載
							①昭和50年10月 ④筑摩書房 ③古典日本文学全集24
	やさしい名作の味わいかたⅡ 菅原伝授手習鑑 賀の祝	解説	藤田洋		演劇界	第19巻 第3号	①昭和36年3月 ④演劇出版社
502	文楽に於ける「道明寺」	演出	吉永孝雄		幕間	第16巻 第9号	①昭和36年9月 ④和敬書店
	今月の文楽公演から	劇評	北岸佑吉		演劇界	第20巻 第6号	①昭和37年5月 ④演劇出版社 ③昭和37年3月23日サンケイホール所演
	菅原道真	参考	坂本太郎		菅原道真		①昭和37年11月 ④吉川弘文館 ③人物叢書、平成2年1月新装版
	『佐太村』の詩情	劇評	如月青子		演劇界	第22巻 第3号	①昭和39年3月 ④演劇出版社 ③昭和39年2月東京三越劇場所演
	文楽協会一年	劇評	北岸佑吉		演劇界	第22巻 第4号	①昭和39年4月 ④演劇出版社 ③昭和39年3月朝日座所演
	でんでん虫五十年 * 勉強会	芸談	《8》竹本綱大夫		でんでん虫		①昭和39年6月 ④布井書房 ③大正11年夏の若手技芸向上会
	* 私の相三味線						③《4》野沢勝市
	でんでん虫夜話 * 八百八狸これを守護す						③名庭絃阿弥の「道明寺」
	* 歌舞伎の若い人たち						③《1》吉田栄三の菅相丞

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	ある「悪」のイメージ	研究	廣末保		もう一つの日本美—前近代 の悪と死 廣末保著作集	第5巻 もう一つの 日本美	①昭和40年11月 ④美術出版社 ①平成9年12月 ④影書房 ③戯曲「悪七兵衛景清」、「集中から拡散へ」「自注 『悪七兵衛景清』」を併載
	時代浄るり序説 —桜丸の切腹— 桜丸の切腹	研究	森山重雄		近世演劇の思想と伝統—時 代浄瑠璃の研究— 近世文学の溯源		①昭和41年1月 ④東京都立大学伝統文化の会
	時代浄るり序説 —桜丸の切腹—			浄瑠璃		①昭和51年10月 ④桜楓社 ①昭和59年11月 ④有精堂出版 ③日本文学研究資料叢書	
	伝話帳 *発声法	芸談	《8》竹本綱大 夫		芸談かたつむり		①昭和41年4月 ④布井書房 ③「車曳」の松王
	義太夫国紳士録 *竹本菅大夫師—大エソ・小 エソ						
	*六世竹本弥大夫師—大酒豪						
	義太夫教室 *泣き・笑い *せき						
473	各段随想 *道行詞の甘替 「菅原伝授」のふるさと	参考	郡司正勝		国立劇場歌舞伎公演解説書	第1回	①昭和41年11月 ④国立劇場事業部
	史上の菅原道真 飛梅余香 《菅公と私》	史跡 解説 考証 随筆	北山茂夫 菅原通済				
	「菅原伝授」の上演	参考	守随憲治		国立劇場歌舞伎公演解説書	第2回	①昭和41年12月 ④国立劇場事業部
	各段随想 *随想天拝山 *寺子屋断片 *大内山		郡司正勝 三宅三郎 浦山政雄				
	「菅原伝授」のふるさと	史跡 解説 考証					
	史上の菅原道真	考証	北山茂夫				

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	桐竹紋十郎 第二章 1	芸談	安藤鶴夫	《2》桐竹紋十郎	文楽◎桐竹紋十郎		①昭和42年1月 ④求龍堂 ③限定版
					安藤鶴夫作品集	Ⅲ芸	①昭和45年12月 ④朝日新聞社 ③平成9年3月復刻版。『文楽 日本の伝統』『古楽芸談』『桐竹紋十郎』他を収録。小文時代の杉王
					文楽 芸と人		①昭和55年1月 ④朝日新聞社 ③朝日選書150。『文楽 日本の伝統』『古楽芸談』『桐竹紋十郎』を収録
	明治百年新喜劇二十年	劇評	北岸佑吉		演劇界	第25巻 第2号	①昭和42年2月 ④演劇出版社 ③昭和42年1月朝日座所演
79、227	名作の舞台鑑賞 菅原伝授手習鑑 * 道明寺	演出	大西重孝		文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
227	* 車場						
56、79、 227、615	* 佐太村						
56、79、 125、158、 172、227、 576、615	* 寺子屋						
	思い出の人々						③《1》吉田栄三の松王及び栄三郎、《5》門造、玉市などの菅原の役
	延享寛延期の竹本座の作品と 並木宗輔	研究	内山美樹子		演劇研究	第3号	①昭和43年10月 ④早稲田大学演劇博物館
	文楽と大奥	劇評	北岸佑吉		演劇界	第27巻 第7号	①昭和44年6月 ④演劇出版社
	「金閣寺」と「道明寺」 —歌舞伎と文楽の観劇ノート から—	解説	吉永孝雄		朝日座番付		①昭和45年1月 ④文楽協会
	関西劇信 文楽に花環る？	劇評	北岸佑吉		演劇界	第28巻 第2号	①昭和45年2月 ④演劇出版社 ③昭和45年1月朝日座所演
	七〇年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九七一年 版	①昭和46年5月 ④早稲田大学出版部 ③昭和45年1月朝日座・9月東京国立劇場小劇場所演
	一九七〇年の文楽						
	文楽の首シリーズ15	演出	齊藤清二郎		国立劇場文楽公演解説書	第15回	①昭和45年9月 ④国立劇場事業部

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	三兄弟の悲劇	劇評	近藤瑞男		演劇界	第28巻 第12号	①昭和45年11月 ④演劇出版社 ③昭和45年9月東京国立劇場小劇場所演
172、227	『菅原』の作者—合作と合作者たち—	研究	河竹登志夫		季刊雑誌歌舞伎	10	①昭和45年10月 ④松竹株式会社演劇部 ③特集〈菅原伝授手習鑑〉
172、227	桜は枯れる世の中—変身劇『菅原』の意味するもの— 文楽と歌舞伎の『菅原』対角線 —義太夫歌舞伎鑑賞の態度について		落合清彦 山口廣一				③絵尽し付載
172	菅原伝授手習鑑細見 『菅原』の世界		富田鉄之助 森山重雄				③歌舞伎中心、浄瑠璃芸談も掲載
227	『菅原伝授手習鑑』の世界				近世文学の溯源		①昭和51年10月 ④桜楓社
	桜丸における情念の描法	研究	武智鐵二		季刊雑誌歌舞伎	10	①昭和45年10月 ④松竹株式会社演劇部 ③特集〈菅原伝授手習鑑〉。「佐太村」における桜丸の歌舞伎での芸談と役そのものの研究
227					三島由紀夫・死とその歌舞伎観 定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和46年8月 ④濠書房 ①昭和54年8月 ④三一書房
	古靱芸談	芸談	安藤鶴夫	《2》豊竹古靱大夫（豊竹山城少掾）	安藤鶴夫作品集	Ⅲ芸	①昭和45年12月 ④朝日新聞社 ③昭和19年1月1日～5月10日まで東京新聞に連載。平成9年3月復刻版。『文楽 日本の伝統』『古靱芸談』『桐竹紋十郎』他を収録。明治33年3月の記事
					文楽 芸と人		①昭和55年1月 ④朝日新聞社 ③朝日選書150。『文楽 日本の伝統』『古靱芸談』『桐竹紋十郎』を収録
554	菅原伝授手習鑑	解説梗概	横山正		浄瑠璃集		①昭和46年11月 ④小学館 ③日本古典文学全集45
	文楽の首シリーズ22	演出	斉藤清二郎		国立劇場文楽公演解説書	第22回	①昭和47年5月 ④国立劇場事業部
	鑑賞ガイド	解説					
	思い切った完全上演	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和47年5月東京国立劇場小劇場所演。初出＝「読売新聞」昭和47年5月12日

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	発奮促進剤の『菅原』	劇評	如月青子		演劇界	第30巻 第8号	①昭和47年7月 ④演劇出版社 ③昭和47年5月東京国立劇場小劇場所演
	七二年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九七 三年版	①昭和48年5月 ④早稲田大学出版部 ③昭和47年5月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	一九七二年の文楽				文楽 二十世紀後期の輝き —劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	文楽 その芸 その人びと 5・7	芸談	武智鐵二		土門拳 文楽 定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和47年12月 ④駿々堂出版 ①昭和54年8月 ④三一書房
502 287	文楽演目解説 菅原伝授手習鑑 筆法伝授の段・築地の段、道 明寺の段、車引の段・賀の祝 の段、寺子屋の段	解説 梗概	武智鐵二		土門拳 文楽 定本・武智歌舞伎 土門拳全集	③文楽舞踊 6文楽	①昭和47年12月 ④駿々堂出版 ①昭和54年8月 ④三一書房 ①昭和60年11月 ④小学館
	第四の巻	芸談	井野辺潔・黒井 乙也＝校註		染太夫一代記		①昭和48年1月 ④青蛙房 ③青蛙選書41。《6》竹本染太夫、天保2年の記事
	第六の巻						③《6》染太夫、天保2～3年の記事
	第十二の巻						③《6》染太夫、天保10年の記事
	第十三の巻						③《6》染太夫、天保11～12年の記事
	第十六の巻						③《6》染太夫、天保13年の記事
	第十八の巻						③《6》染太夫、天保14～15年の記事
	第十九の巻						③《6》染太夫、弘化1年の記事
	第二十の巻						③《6》染太夫、弘化1～3年の記事
	第二十四の巻						③《6》染太夫、嘉永1～2年の記事
	第二十六の巻						③《6》染太夫、嘉永2年の記事
	第二十九の巻						③《6》染太夫、嘉永3年の記事
	五章 圧倒する迫力 時代物 菅原伝授手習鑑	解説 梗概	吉永孝雄		カラー文楽の魅力		①昭和49年1月 ④淡交社 ③三村幸一＝写真
	病休続出の文楽	劇評	福島秀治		演劇界	第32巻 第2号	①昭和49年2月 ④演劇出版社 ③昭和49年1月朝日座所演
	景事 綱大夫間書 冬 ……寺小屋芸談	芸談	山川静夫		綱大夫四季 綱大夫四季 昭和の文楽を 生きる		①昭和49年10月 ④南窓社 ①平成16年6月 ④岩波書店 ③岩波現代文庫（文芸85）。永六輔の解説を加え再版
227、517	人形の型 菅原伝授手習鑑	演出	中西敬二郎		文楽への道		①昭和50年1月 ④早稲田大学出版部



上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
172	『寺子屋』を中心に	劇評	如月青子		演劇界	第33巻 第2号	①昭和50年2月 ④演劇出版社 ③昭和50年1月歌舞伎座所演歌舞伎公演の劇評
	菅原伝授手習鑑—人形浄るりの 歌舞伎化の問題—	研究	井草利夫		日本大学農獣医学部一般教 養研究紀要	第10号	①昭和50年3月 ④日本大学農獣医学部
	古典は消えて行く、されど * 豊沢仙糸の「楼門」 * 山城少掾の古靱時代 * 子殺しの恨み節 * シャミセン・リブの鶴沢清 六	評論	武智鐵二		雑誌「78」		①昭和50年6月～52年1月連載
	竹田近江・出雲の代々	研究	祐田善雄		浄瑠璃史論考		①昭和50年8月 ④三一書房
	竹田出雲の襲名と作品				浄瑠璃作品要説	〈4〉竹田出 雲篇	①昭和61年2月 ④国立劇場調査養成部芸能調査室
	「寺子屋」の芹生	解説	京都新聞社		名作散歩 歌舞伎と京都		①昭和50年9月 ④京都新聞社
	演奏から見た時代物と世話物	研究	山口廣一		国立劇場文楽公演解説書	第37回	①昭和51年3月 ④国立劇場事業部
	津大夫の気迫	劇評	福本和生		演劇界	第34巻 第5号	①昭和51年5月 ④演劇出版社 ③昭和51年3月東京国立劇場小劇場所演
	『菅原伝授手習鑑』試論	研究	檜谷昭彦		中世・近世の文芸		①昭和51年10月 ④桜楓社 ③国文学論叢新集4
	文楽の作者たち —近松・出雲・宗輔—	研究	内山美樹子		月刊文化財	第157号	①昭和51年10月 ④第一法規出版
	祭り空間・寺子屋	研究	森山重雄		国立劇場歌舞伎公演解説書	第83回	①昭和52年1月 ④国立劇場事業部
	文楽名作鑑賞 菅原伝授手習鑑	解説 梗概	山田庄一		文楽入門		①昭和52年6月 ④文研出版 ③文研の芸能鑑賞シリーズ
					文楽		①平成2年1月 ④ぎょうせい ③伝統芸能シリーズ3。『文楽入門』の改訂版
	白太夫考—天神縁起外伝—	研究	中村幸彦		文学	第45巻 第8号	①昭和52年8月 ④岩波書店
	深みある「桜丸切腹」	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き —劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和53年2月東京国立劇場小劇場所演。初出＝「読売 新聞」昭和53年2月15日
	みごとな『桜丸切腹』	劇評	杉本嘉代子		演劇界	第36巻 第3号	①昭和53年3月 ④演劇出版社 ③昭和53年2月東京国立劇場小劇場所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	気迫感じさせる「勸進帳」	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き —劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和53年12月東京国立劇場小劇場所演。初出＝「読売新聞」昭和53年12月9日
	発散するエネルギー	劇評	杉本嘉代子		演劇界	第37巻 第2号	①昭和54年2月 ④演劇出版社 ③昭和53年12月東京国立劇場小劇場所演
	山城少掾自伝 * 大阪へ * 開放的修業 * 戦後	芸談		豊竹山城少掾	日本の芸談	第3巻能 狂言 文楽	①昭和53年12月 ④九藝出版 ③『山城少掾自伝』『文五郎芸談』を収録
287	菅丞相のかしら	芸談		吉田文雀	朝日座番付		①昭和54年1月 ④文楽協会
	『菅原伝授手習鑑』の操り史的意義	研究	横山正				
	菅原伝授手習鑑 登場人物の紹介	解説	吉永孝雄				
	せまじきものは宮仕へ		田結莊蒼治				
	天神記メモ		宮尾しげを				
	燃えない舞台が多い	劇評	大鋸時生		演劇界	第37巻 第3号	①昭和54年3月 ④演劇出版社 ③昭和54年1月朝日座所演
	初代近江と先代出雲	研究	安田富貴子		芸能史研究	第66号	①昭和54年7月 ④芸能史研究会
ブ10、287	初演時の資料	資料			義太夫年表 近世篇	第1巻	①昭和54年11月 ④八木書店
	簡潔な演出 張りのある舞台	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き —劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和54年12月東京国立劇場小劇場所演。初出＝「読売新聞」昭和54年12月13日
	『菅原伝授手習鑑』の典拠について	研究	大野路子		学習院大学国語国文学会誌	第24号	①昭和56年3月 ④学習院大学文学部国語国文学会
	“語りもの、文芸の伝承要素—「菅原伝授手習鑑」の民俗—	研究	乗岡憲正		大谷女子大國文	第11号	①昭和56年3月 ④大谷女子大学国文学会
	“語りもの、文芸における伝承要素（二）—『菅原伝授手習鑑』『佐太村の段』の成立と民俗—				物語文学伝承論—物語性・民譚・芸能—		①平成3年10月 ④桜楓社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
576	わたしの天神探訪	考証	三隅治雄		演劇界	第39巻 第13号	①昭和56年11月 ④演劇出版社 ③特集〈菅原伝授手習鑑鑑賞〉
	文楽の『菅原』 能に於ける天神の系譜	研究 参考	高木浩志 八尾正治 石上英二 織田紘二				
	菅原道真小伝 鑑賞の手引						
	*大序から筆法伝授へ *道明寺、血の悲劇		渡辺保				
	*車引・佐太村 *天拝山・寺子屋		松井俊諭 藤井康雄				
	菅原伝授手習鑑	参考	(13)片岡仁左衛門		菅原と忠臣蔵		①昭和56年11月 ④向陽書房
	菅原伝授手習鑑の世界	研究	森山重雄		国立劇場歌舞伎公演解説書	第112回	①昭和56年11月 ④国立劇場事業部
	史跡を往く	史跡 解説					
	道真の左遷	考証	村井康彦				
	続監修のことば	参考	郡司正勝		国立劇場歌舞伎公演解説書	第113回	①昭和56年12月 ④国立劇場事業部
	芹生の里 史跡を往く	随筆 史跡 解説	田中澄江				
	天神信仰	考証	村井康彦				
287	「菅丞相」のあれこれ	芸談		《1》吉田玉男	朝日座番付		①昭和58年1月 ④文楽協会
287	「菅丞相」の眉について 意義深い「菅原」の通し 木像縁起物語	解説	山田庄一 松崎仁	吉田文雀			
	菅原道真と天神伝説	考証	吉永孝雄				
	配役に不満あり	劇評	桜井弘		演劇界	第41巻 第3号	①昭和58年3月 ④演劇出版社 ③昭和58年1月朝日座所演
	菅原伝授手習鑑	解説	渡辺保		研究資料日本古典文学	第10巻劇文 学	①昭和58年12月 ④明治書院 ③「概括」「成立および概観」「作者」「内容」「意義」「諸本」「参考文献」より成る
	桐竹勘十郎 この一年	芸談		《2》桐竹勘十郎	文楽	第2号	①昭和59年2月 ④「文楽」編集部 ③昭和58年1月朝日座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	師匠春秋 * 師匠春秋 (二)	芸談	高木浩志	《4》竹本越路 大夫	四代竹本越路大夫		①昭和59年3月 ④淡交社 ③「東天紅」の太郎の心入れ ③昭和10年1月の「菅原」
	小松颯爽 * 生意気盛りの品定め (二)						③勉強会
	青春の群像 * 青春の群像 (一)						③端場と切場の格と内容
	つばめラブコール * 三人組						③古軼を聞く会での「寺子屋」
	* あとにも先にも狐だけ						③人形を持った経験
	三つの和 * ツメが重たい						③「佐太村」の八重
	きのうきょう						
	菅原伝授手習鑑	解説 梗概	内山美樹子		日本古典文学大辞典	第3巻	①昭和59年4月 ④岩波書店
ブ22	「菅原伝授手習鑑」などの合 作者問題	研究	内山美樹子		演劇学	第25号	①昭和59年3月 ④早稲田大学文学部演劇研究室
	日だてと大入袋	芸談	《4》竹本津大 夫		文楽三代 竹本津大夫聞書		①昭和59年4月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス35。初舞台の次 ③大序と「寺子屋」のうみ字 ③「車場」の肩衣 ③菅原のうってがえ
	地合とことばと						
	肩衣と衣裳						
	文楽座復興						
	文楽の芸—その伝承 * 座から個人へ * 個人の風 * 変わってきた義太夫節 * 文楽の伝承	研究	高木浩志		文楽の芸		①昭和59年5月 ④東京書籍
	文楽の芸—その修行 * 人形・創造する努力						
	文楽の芸—その表現 * 太夫の表現=九代竹本文字 大夫の話	芸談		《9》竹本文字 大夫 (《7》竹 本住太夫)			③「訴訟」の代役
	文楽の芸—その鑑賞 * 「寺子屋」を肴に	鑑賞					
	操り絵尽から見た 『菅原伝授手習鑑』	研究	横山正		国立劇場文楽公演解説書	第69回	①昭和59年5月 ④国立劇場事業部
	鑑賞ガイド1・2	解説	岡田聰				
	張りのある舞台に	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き —劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和59年5月東京国立劇場小劇場所演。初出=「読売 新聞」昭和59年5月16日
	三兄弟中心の『菅原』	劇評	富岡泰		演劇界	第42巻 第7号	①昭和59年7月 ④演劇出版社 ③昭和59年5月東京国立劇場小劇場所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	国立文楽劇場の新築開場— 文楽のこの一年	劇評	内山美樹子		演劇界	第42巻第13号	①昭和59年12月 ④演劇出版社 ③昭和59年5月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	八四年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九八五年版	①昭和60年5月 ④早稲田大学出版部 ③昭和59年5月東京国立劇場小劇場所演
	一九八四年の文楽				文楽 二十世紀後期の輝き— 劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	竹本文字大夫 この一年	芸談		《9》竹本文字大夫（《7》竹本住太夫）	文楽	第3号	①昭和60年2月 ④「文楽」編集部 ③昭和59年5月東京国立劇場小劇場所演
	九、父住大夫のこと *上手ぶってやるな 十一、文楽協会誕生 *師匠山城少掾の教え	芸談	《7》竹本住大夫・和多田勝		文楽説き語り 言うて暮しているうちに		①昭和60年4月 ④創元社 ③「寺子屋芸談」
	寺子屋随想	随筆	三田純市		国立文楽劇場文楽公演解説書	第8回	①昭和60年6月 ④国立文楽劇場事業課
	文楽の劇評 『寺子屋』と『鳴門』	劇評	富岡泰		演劇界	第43巻第9号	①昭和60年8月 ④演劇出版社 ③昭和60年6月国立文楽劇場所演
	76 梅・松・桜 三つ子の争い 『菅原伝授手習鑑』	入門	権藤芳一		文楽の世界		①昭和60年6月 ④講談社
	吉田玉男 この一年	芸談		《1》吉田玉男	文楽	第4号	①昭和61年2月 ④「文楽」編集部 ③昭和60年6月国立文楽劇場所演
287、375、576	菅原伝授手習鑑	解説梗概	灰田由記子・吉永孝雄		浄瑠璃作品要説	〈4〉竹田出雲篇	①昭和61年2月 ④国立劇場調査養成部芸能調査室
	第一章 『一谷嫩軍記』 三の切・熊谷陣屋の段 —「奥へ連れて行（三の1）～待間程なく（三の4）」 三「軍次は頓て（三の12）～詞をあら上げ（五の21）」 十「藤の肩は御声（二七の25）～堅固で居たな満足やと（三三の15）」	芸談	《4》竹本津大夫・津大夫を囲む研究会	《4》竹本津大夫・竹沢団七	四世竹本津大夫芸話		①昭和61年7月 ④白水社 ③日本芸能セミナー文楽の音楽第一部
	お寺の鐘と下座の鐘を混同	芸談	田結莊哲治	《2》吉田玉五郎	文楽 人形の魅力		①昭和61年8月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス66。初めての役菅秀才
	貴重品『八百屋献立』	劇評	富岡泰		演劇界	第44巻第10号	①昭和61年9月 ④演劇出版社 ③昭和61年8月国立文楽劇場所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	素人義太夫盛衰記	芸談	高木浩志	布谷伊京	上方芸能	93号	①昭和61年11月 ④『上方芸能』編集部
	貴重な体験談 素人義太夫盛衰記				文楽に親しむ		①平成27年4月 ④和泉書院
	第五章 要素の様式把握 二節 音高語法	研究	山田智恵子		義太夫節の様式展開		①昭和61年11月 ④アカデミア・ミュージック ③井野辺潔・横道萬里雄・他＝著
	四節 節訛り		廣井榮子・平山 けい子				
	五節 時間語法		茂手木潔子				
	第八章 太夫様式		廣井榮子				
	一節 豊竹越前少掾						
	二節 竹本政太夫		井野辺潔				
	四節 豊竹筑前少掾		蒲生郷昭				
	六節 豊竹島太夫		田中悠美子				
	第九章 様式の時代変遷		井野辺潔				
	楽譜《菅原伝授手習鑑・道明 寺》より	採譜	山田智恵子				③豊竹山城少掾・《4》鶴沢清六＝演奏
	楽譜《菅原伝授手習鑑・道明 寺》より						③《4》竹本越路大夫・鶴沢清治＝演奏
	楽譜《菅原伝授手習鑑・桜丸 切腹》より		蒲生郷昭＝採譜 /山田智恵子＝ 整譜				③豊竹山城少掾・《1》鶴沢藤蔵＝演奏
	楽譜《菅原伝授手習鑑・寺子 屋》より		垣内幸夫＝採譜 /田中悠美子＝ 整譜				③豊竹山城少掾・《4》鶴沢清六＝演奏
	楽譜《菅原伝授手習鑑・寺子 屋》より						③《8》竹本綱大夫・《10》竹沢弥七＝演奏
	文楽の通し狂言について	芸談		《5》豊竹呂大 夫	文楽	第5号	①昭和62年2月 ④文楽編集部 ③昭和61年5月8日「呂大夫の文楽サロン」講演を再録
	皿音で楽しむ名曲の数々 1語りの面白さ	鑑賞	茂手木潔子		文楽 声と音と響き		①昭和63年1月 ④音楽之友社 ③「寺子屋」の語り分け
	菅原伝授手習鑑①②③	鑑賞	森西真弓		上方芸能への招待		①昭和63年4月 ④『上方芸能』出版センター
	第一話 文楽の太夫 * 床	芸談	《5》竹本織大 夫（《9》竹本 源太夫）・高木 浩志		織大夫夜話 文楽へのいざ ない		①昭和63年7月 ④東方出版 ③「車曳き」の松王
	* 太夫の衣裳 * 太夫の心構え						③「車場」の肩衣 ③三段目の喧嘩
	第二話 入門まで * 源大夫は名人やけど						③書拔
	第四話 端場 * 生写朝顔話・笑葉						③三重とオクリ他

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	三大名作 日本人の心性 「菅原伝授手習鑑」	研究	水落潔		文楽 そのエンチクロペ ディ		①平成1年3月 ④新曜社
	二つの天神信仰	考証	桜井好朗		国立文楽劇場文楽公演解説 書	第30回	①平成1年4月 ④国立文楽劇場事業課
576	江戸時代の庶民教育—「手 習」「寺子屋」ブーム—	参考	森谷尅久				
	気品ある丞相を、白太夫は滋 味豊かに……	芸談	川崎一朗	《1》吉田玉男			
ブ22	妹背山婦女庭訓写真	写真			国立文楽劇場上演資料集	22	①平成1年4月 ④国立文楽劇場調査養成課 ③昭和2年4月弁天座、5年8月・16年2月四ツ橋文楽座所 演
ブ22	全段のあらずじ	梗概					
	越路大夫の引退	劇評	藤井康雄		演劇界	第47巻 第5号	①平成1年5月 ④演劇出版社 ③平成1年4月国立文楽劇場所演
	越路大夫の引退—今年の劇界 の動向 文楽	劇評	内山美樹子		演劇界	第47巻第14 号	①平成1年12月 ④演劇出版社 ③平成1年4月国立文楽劇場・5月東京国立劇場小劇場所 演（短評）
					文楽—二十世紀後期の輝き —劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	文楽のかしらシリーズ② 孔明	演出	吉田文雀＝解説 /飯村隆＝写真		国立劇場文楽公演解説書	第88回	①平成1年5月 ④国立劇場事業部
	鑑賞ガイド1・2 『菅原伝授手習鑑』の背景	解説 研究	岡田聰 阪倉篤義				
	「死」見据える越路大夫	劇評	内山美樹子		文楽—二十世紀後期の輝き —劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③平成1年5月東京国立劇場小劇場所演。初出＝「読売 新聞」平成1年5月10日
	越路有終の美	劇評	水落潔		演劇界	第47巻 第7号	①平成1年6月 ④演劇出版社 ③平成1年5月東京国立劇場小劇場所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	Ⅱ 並木宗輔 「菅原伝授手習鑑」などの合 作者問題 一、作者伝説への対応 二、親子恩愛劇と出雲、宗輔 三、豊竹座時代の並木宗輔 四、延享寛延期、竹本座の執 筆分担 五、「道明寺」と近松	研究	内山美樹子		浄瑠璃史の十八世紀		①平成1年10月 ④勉誠社 ③一～四は『演劇学』25「『菅原伝授手習鑑』などの 合作者問題」『演劇研究』3「延享寛延期、竹本座の作 品と並木宗輔」をもとに再構成・加筆
473	「佐太村」—バーナムの森の 梅・松・桜— (付)人形浄瑠璃文楽の上 演形態 二、一九八九年「菅原伝授手 習鑑」						
	時平の形象をめぐって	研究	岩井真実		演劇学	第31号	①平成2年1月 ④早稲田大学文学部演劇研究室
	語りもの文芸の伝承要素— 「菅原伝授手習鑑」道明寺の 段の成立と民俗—	研究	乗岡憲正		大谷女子大学紀要	第24号 第2輯	①平成2年1月 ④大谷女子大学紀要編輯委員会
					物語文学伝承論—物語性・ 民譚・芸能—		①平成3年10月 ④桜楓社
	『天神記』の系譜—『天満宮 菜種御供』への継承	研究	浮橋康彦		広島大学教育学部紀要(第2 部)	38	①平成2年2月 ④広島大学教育学部
615	引退公演を振り返って 『菅原伝授手習鑑』 寺子屋の段 丞相名残の段	芸談	富岡泰	《4》竹本越路 大夫 《5》鶴沢燕三	文楽	第8号	①平成2年2月 ④「文楽」編集部
				《5》竹本織大 夫(《9》竹本 源太夫)			
	覚寿 菅丞相		吉村暢子 山田裕子	吉田文雀 《1》吉田玉男			
	『天神記』小考—「松・竹・ 梅」の登場—	研究	白瀬浩司		文学研究	第72号	①平成2年12月 ④日本文学研究会
	人生の一日 『菅原伝授手習鑑』—賀の祝 狂熱の地獄 『菅原伝授手習鑑』—寺子屋	参考	渡辺保		歌舞伎という宇宙 私の古 典鑑賞		①平成3年4月 ④筑摩書房
	ここぞという時の瞬発力	劇評	読売新聞芸能 部・依光孝明	《4》竹本越路 大夫	芸談—四十八人・生きて演 じて		①平成3年5月 ④明興社 ③「桜丸切腹」など



上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第一章 入門 * 雪降りの林檎 第二章 襲名 * オイ抱いてんか	芸談	《3》吉田襄助		頭巾かぶって五十年		①平成3年8月 ④淡交社
	重層構造の展開—『菅原伝授手習鑑』を中心に—	研究	鈴木亨		島大国文	第20号	①平成3年12月 ④(島根大学)島大国文会
	第一部 浄瑠璃史をめぐって 第五章 操浄瑠璃の黄金時代—合作浄瑠璃における立作者の推定	研究	河合眞澄		浄瑠璃の世界		①平成4年6月 ④世界思想社 ③阪口弘之=編
	第二部 浄瑠璃の芸態とその周辺 第九章 浄瑠璃の作劇法		原道生				
	文楽人形の仕組と表情 — 人形の構造	芸談	森西真弓=構成・文	《1》吉田玉男	別冊太陽 日本のこころ	No.80 文楽	①平成5年1月 ④平凡社
	四 人形遣いの出立						
	文楽名作案内 菅原伝授手習鑑	解説	阪口弘之				
	「寺子屋」談義	芸談	後藤静夫	《7》竹本住大夫	文楽談義—語る・弾く・遣う		①平成5年8月 ④創元社 ③井野辺潔=監修、義太夫研究会=編著
	義太夫の「風」 * 親父のやり方 * 染太夫の風		井野辺潔	豊竹咲大夫			
	「地色」の機微 * 地色		内山美樹子	《5》鶴沢燕三			
	「彦六系」の芸 * 弾き分けに重きを * 太夫と合う、合わない * キメ撥と掛け声		垣内幸夫	《8》竹沢団六 (《7》鶴沢寛治)			
	「人形芝居」を超えて * 首も語りで変わる		内山美樹子	《1》吉田玉男			
	もっとおもしろい文楽を * 浄瑠璃が先か、人形が先か * 文五郎と栄三		横山正=聞き手 /蒲生郷昭=文章化	《2》桐竹勘十郎			
	嘘を真らしく * 横幕開けるにも間が		茂手木潔子	《3》吉田襄助			
	菅原の世界と『八犬伝』	研究	河合眞澄		読本研究	第7輯	①平成5年9月 ④広島文教女子大学研究出版委員会『読本研究』編集部代表横山邦治
					近世文学の交流—演劇と小説—		①平成12年7月 ④清文堂出版

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	山城少掾受領—「道明寺」	評伝	渡辺保		昭和の名人 豊竹山城少掾 —魂をゆさぶる浄瑠璃		①平成5年9月 ④新潮社
	四代目清六との袂別—「寺子屋」						
	天神伝説と演劇	研究	松崎仁		日本文学研究	第29号	①平成5年11月 ④梅香女学院大学日本文学会
	二人の子どもの死について	参考	片岡徳雄		国立文楽劇場文楽公演解説書	第52回	①平成5年11月 ④日本芸術文化振興会
	地味ながら楽しめる舞台に	劇評	田結荘哲治		演劇界	第51巻 第14号	①平成5年12月 ④演劇出版社 ③平成5年11月国立文楽劇場所演
	二十一年ぶりの『喜内住家』上演	劇評	宮辻政夫		上方芸能	118号	①平成6年7月 ④『上方芸能』編集部 ③平成5年11月国立文楽劇場所演
517	第三部 名作の鑑賞 時代物 菅原伝授手習鑑	解説 梗概	藤田洋・森西真弓		文楽ハンドブック		①平成6年12月 ④三省堂 ③平成15年3月改訂版、平成23年2月第3版。上演資料集〈517〉は改訂版より
	第八話 『菅原伝授手習鑑』 と二つの地方伝承 —付り、松王登場考—	研究	上原輝男		日本人の心をほどくかぶき 十話「風流」の「情念」と 「行動」		①平成7年5月 ④オリジン社
	並木宗輔の描いた謀反人	研究	二川清		都大論究	32	①平成7年6月 ④東京都立大学国語国文学会
	究極の座談会 三業一鉢の妙	座談 会	水落潔＝司会	《7》竹本住大 夫・《5》鶴沢 燕三・《1》吉 田玉男	文楽入門 鑑賞へのいざない		①平成7年6月 ④淡交社 ③淡交ムック。水落潔＝指導、青木信二＝写真
	文楽見どころ聞きどころ 菅原伝授手習鑑	鑑賞	廓正子				
	『五條橋』と『寺子屋』	劇評	田結荘哲治		演劇界	第53巻 第8号	①平成7年7月 ④演劇出版社 ③平成7年6月国立文楽劇場所演
	資料紹介 昭和文楽の軌跡 越路大夫の「寺子屋」	研究	井野辺潔		芸能史研究	第130号	①平成7年7月 ④芸能史研究会
	9人形浄瑠璃の作者 (3) 出雲初代・二代	研究	吉永孝雄		講座 日本の演劇	4近世の演劇	①平成7年8月 ④勉誠社 ③Ⅱ人形浄瑠璃
	「菅原」の構造	批評	水落潔		演劇散歩		①平成8年1月 ④演劇出版社 ③平成7年3月11日稿、平成5年7月～7年6月まで毎日新聞に連載したコラム
	文楽のかしらシリーズ② 「白太夫」「又平」「鼻動 き」	演出	吉田文雀＝解説 /飯村隆＝写真		国立劇場文楽公演解説書	第116回	①平成8年9月 ④国立劇場事業部
	鑑賞ガイド1・2	解説					

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	完成した芸の輝き全段に	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き —劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③平成8年9月東京国立劇場小劇場所演。初出＝「読売新聞」平成8年9月11日
	充実した『菅原』の通し	劇評	水落潔		演劇界	第54巻 第11号	①平成8年10月 ④演劇出版社 ③平成8年9月東京国立劇場小劇場所演
	国立劇場三十周年の『菅原』	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	19	①平成9年6月 ④歌舞伎学会 ③平成8年9月東京国立劇場小劇場・11月国立文楽劇場所演
	鑑賞ガイド 菅原道真の和歌 大宰府の春 桐竹一暢にきく 「ゆかりの地」あれこれ	解説 参考 随筆 芸談 史跡	島津忠夫 さだまさし 森西真弓 田結莊哲治	桐竹一暢	国立文楽劇場文楽公演解説 書	第64回	①平成8年11月 ④日本芸術文化振興会
	本業文楽の実力と主張	劇評	権藤芳一		演劇界	第54巻 第13号	①平成8年12月 ④演劇出版社 ③平成8年11月国立文楽劇場所演
	玉男一世一代の菅丞相 1996年の上方芸能界をふり 返って 文楽・歌舞伎 九代綱大夫襲名	劇評 劇評 参考	宮辻政夫 森西真弓		上方芸能	126号	①平成9年5月 ④『上方芸能』編集部 ③平成8年11月国立文楽劇場所演
	文楽公演の現状と提言	批評	内山美樹子		歌舞伎 研究と批評	18	①平成8年12月 ④歌舞伎学会
	淀川長治の文楽10選 * 菅原伝授手習鑑	鑑賞	淀川長治		広告批評	205	①平成9年5月 ④マドラ出版
	第三部 歌舞伎を読む —「寺子屋」の場合— 4 「寺子屋」の思想性—忠義 とは	研究	渡辺保		岩波講座 歌舞伎・文楽	第1巻 歌舞伎と文 楽の本質	①平成9年9月 ④岩波書店
	義太夫曲 『菅原』の天拝山 文楽のテキストを読む 浄瑠璃に三味線も 昭和文楽のテキスト 『菅原伝授手習鑑』二段目切 「道明寺の段」 『菅原伝授手習鑑』四段目切 「寺子屋の段」	随筆 研究	井野辺潔		日本の音楽と文楽		①平成10年3月 ④和泉書院 ③「道明寺」等のテキストによる節章の読み方の解説 ③解題・演奏史・テキスト
	文楽 第1・2回 『菅原伝授手習鑑』 寺子屋の段（一）（二）	鑑賞	水落潔		NHK日本の伝統芸能		①平成10年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門V

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第二部 人形浄瑠璃の黄金時代 I 菅原・千本・忠臣蔵	研究	諏訪春雄		岩波講座 歌舞伎・文楽	第8巻 近松の時代	①平成10年5月 ④岩波書店
	錦糸襲名と見取り狂言の未来	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	22	①平成10年12月 ④歌舞伎学会 ③平成10年5月30日国立文楽劇場所演「文楽素浄瑠璃の会」(短評)
	座談会 作品研究の起点	研究	今尾哲也・内山美樹子 ・上村以和於・渡辺保・近藤瑞男		歌舞伎 研究と批評	21	①平成10年6月 ④歌舞伎学会
	スペシャルインタビュー 菅原伝授手習鑑の世界	芸談		《1》吉田玉男	SOFT	28	①平成10年7月 ④大阪都市協会
	安永・天明の江戸歌舞伎 車引—市川流と中島流	研究	古井戸秀夫		歌舞伎 問いかけの文学		①平成10年7月 ④ぺりかん社
	わが愛しの文楽 強きもの、汝の名は、女— (菅原伝授手習鑑・寺子屋の段)	随筆	広谷鏡子		恋する文楽		①平成11年9月 ④洋泉社
	短所が役に立った人々 —時代浄瑠璃の人物たち—	研究	原道生		近松研究所紀要	第10号	①平成11年11月 ④園田学園女子大学近松研究所 ③「寺子屋」の松王丸
	三代浄瑠璃 歌舞伎を圧倒する浄瑠璃— 「仮名手本忠臣蔵」「菅原伝授手習鑑」「義経千本桜」—	鑑賞	内山美樹子		週刊朝日百科 世界の文学	第87号	①平成13年3月 ④朝日新聞社 ③名作への招待 歌舞伎と浄瑠璃
	二、文楽三和会 * 逃げる足	芸談	桐竹紋壽		文楽・女方ひとすじ おつ るから政岡まで		①平成13年9月 ④東方出版 ③千代の足で叱られたこと ③「寺子屋」での思い出
	三、文楽合同 * そろそろ起きや * 掛声						③《2》桐竹紋十郎の話題
	五、文楽へのいざない * 文楽の女たち						③菅原の女たち(戸浪ほか)
	文楽鑑賞ベストテン 其の二 文楽時代物ベスト3 三、『菅原伝授手習鑑』	鑑賞	田中マリコ		文楽に連れてって!		①平成13年11月 ④青弓社
	松王丸と菅丞相 『菅原伝授手習鑑』	芸談	《1》吉田玉男 ・山川静夫		文楽の男 吉田玉男の世界		①平成14年1月 ④淡交社 ③青木信二=写真。平成28年8月淡交新書。平成8年11月国立文楽劇場所演
	道真の実像と虚像 浄瑠璃に描かれた道真像—そ の神格化の内実	研究	原道生		国文学 解釈と鑑賞	第67巻 第4号	①平成14年4月 ④至文堂 ③特集〈学問の神様・菅原道真没後—一〇〇年〉

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	菅丞相の怒りをめぐって	研究	鎌倉恵子		国立文楽劇場文楽公演解説書	第86回	①平成14年4月 ④日本芸術文化振興会 ③「寺子屋」
	鶴澤燕二郎にきく	芸談	広瀬依子	鶴澤燕二郎 (《6》鶴澤燕三)			
	文楽なんでも誌 「天神さんあれこれ」	史跡	田結荘哲治				
	圧巻の玉男の「道明寺」	劇評	田結荘哲治		演劇界	第60巻 第7号	①平成14年5月(6月号) ④演劇出版社 ③平成14年4月国立文楽劇場所演
	代役、そして世代交代を思う	劇評	片山剛		上方芸能	145号	①平成14年9月 ④『上方芸能』編集部 ③平成14年4月国立文楽劇場所演
	学問の神様	随筆	金森順次郎		国立劇場文楽公演解説書	第139回	①平成14年5月 ④日本芸術文化振興会
	道真の位置	参考	大岡信				
	政治家・菅原道真 浄瑠璃再発見(五) —松王の疎外感—	研究	平田耿二 内山美樹子				
443	上演演目に沿って ～越路大夫・21世紀へのメッ セージ	芸談	高木浩志	《4》竹本越路 大夫	国立劇場上演資料集	443	①平成14年5月 ④日本芸術文化振興会
443	玉男芸話15	芸談	森西真弓	《1》吉田玉男	国立劇場上演資料集	443	①平成14年5月 ④日本芸術文化振興会 ①平成19年9月 ④日本芸術文化振興会 ③国立劇場上演資料集増刊
	菅原伝授手習鑑				吉田玉男文楽藝話		
	充実した『菅原』の通し	劇評	水落潔		演劇界	第60巻 第8号	①平成14年6月(7月号) ④演劇出版社 ③平成14年5月東京国立劇場小劇場所演
	菅原伝授見物記(五月の文 楽)	劇評	清水義夫		歌舞伎 研究と批評	30	①平成14年12月 ④歌舞伎学会 ③平成14年5月東京国立劇場小劇場所演
	越路大夫以後の文楽へ	劇評	片山剛		上方芸能	146号	①平成14年12月 ④『上方芸能』編集部 ③平成14年6月国立文楽劇場所演「文楽若手会」
	文楽の名作 菅原伝授手習鑑	解説	児玉竜一		能楽・文楽・歌舞伎 日本 の伝統芸能への誘い		①平成14年8月 ④教育芸術社 ③浦田健次郎＝監修
	跋 笑い三様	随想	南園節教		わくわく私の文楽		①平成14年9月 ④手毬文庫。谷野優子＝著
	義太夫節浄瑠璃のCD化— 『義太夫選集 竹本越路大 夫』の発売—	批評	飯島満		歌舞伎 研究と批評	30	①平成14年12月 ④歌舞伎学会

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	これを見よ！文楽演目厳選10 菅原伝授手習鑑 二段目杖折檻・東天紅・丞相 名残の段	鑑賞	七海友信		歌舞伎・文楽の見方が面白 いほどわかる本		①平成15年4月 ④中経出版
615	第二章 三大名作は詞もフシ も筋書もようできています 『菅原伝授手習鑑◎桜丸切腹 の段』名作中の名作です。お 客さんが泣いてくれはらなん たら、よっぽど演者が悪い	芸談	《7》竹本住大 夫		文楽のこころを語る		①平成15年8月 ④文藝春秋 ③平成21年1月文庫版
	文楽を観に行く前に 初めて観るならこの演目がお すすめ8 菅原伝授手習鑑	鑑賞	松平盟子		劇場に行こう 文楽にアク セス		①平成15年10月 ④淡交社
	劇場必携演目ダイジェスト24 菅原伝授手習鑑	あら すじ					
	新世代インタビュー 桐竹勘十郎さん	対談		《3》桐竹勘十 郎			③源蔵
	菅原伝授手習鑑論—親子とい う視点	研究	増田愛子		演劇映像	第45号	①平成16年3月 ④早稲田大学第一文学部演劇映像研究室
	名作紹介 菅原伝授手習鑑	あら すじ 解説	江南真理		物語で学ぶ日本の伝統芸能	4文楽	①平成16年4月 ④くもん出版 ③平島高文＝監修。「寺子屋」
	桜三味大入千本	劇評	片山剛		上方芸能	153号	①平成16年9月 ④『上方芸能』編集部 ③平成16年5月ドーンセンター所演「十色会」（短評）
	文楽らしい濃厚さ	劇評	亀岡典子		演劇界	第62巻 第11号	①平成16年7月（8月号） ④演劇出版社 ③平成16年6月国立文楽劇場所演
	『菅原』の趣向の展開—梅と 松と桜と—	鑑賞	権藤芳一		国立劇場文楽公演解説書	第149回	①平成16年12月 ④日本芸術文化振興会
	義太夫節の音楽的特徴を考え る（七） 文楽を聴く—道行について—	研究	垣内幸夫				
473	舞台写真	写真			国立劇場上演資料集	473	①平成16年12月 ④日本芸術文化振興会 ③昭和2年4月弁天座所演「桜丸切腹の段」、昭和14年5 月四ツ橋文楽座所演「道行恋の重荷」、昭和16年2月四 ツ橋文楽座所演「車場の段」「喧嘩の段」「桜丸切腹 の段」、昭和17年3月四ツ橋文楽座所演「道行恋の重荷 の段」、昭和19年1月四ツ橋文楽座所演「茶釜酒の段」 「訴訟の段」、昭和19年12月四ツ橋文楽座所演「車場 の段」「桜丸切腹の段」

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	桜丸切腹の哀切感	劇評	福本和生		演劇界	第63巻 第2号	①平成17年1月（2月号） ④演劇出版社 ③平成16年12月東京国立劇場小劇場所演
	吉田文雀聞書 続篇	芸談	阿部俊夫	吉田文雀	演劇界	第62巻第16 号	①平成16年12月 ④演劇出版社
	第二章 名作ガイド 菅原伝授手習鑑	解説	酒井順子		豊竹咲甫大夫と文楽へ行こ う		①平成16年12月 ④旬報社 ③旬報社まんぼうシリーズ。豊竹咲甫大夫＝著
	第四章 豊竹咲甫大夫、思い 入れのある名場面 菅原伝授 手習鑑 寺子屋の段	芸談 グラ ビア	豊竹咲甫大夫				
	第一章 キーワードでたどる 文楽 *小道具 *竹本住大夫 *つめ人形	鑑賞	亀岡典子		文楽ざんまい		①平成17年6月 ④淡交社
	第二章 太夫・三味線・人形 遣い *竹本住大夫 *野澤錦糸 *吉田玉男	芸談		《7》竹本住大 夫 《5》野澤錦糸 《1》吉田玉男			
	最終章 人間の心底を描き続 ける文楽の世界 *本音と建前	鑑賞					
	時代物 菅原伝授手習鑑	解説	高木秀樹＝著/ 青木信二＝写真		あらすじで読む 名作文楽 50		①平成17年7月 ④世界文化社 ③ほたるの本。平成27年9月加筆再構成した新版刊
	名作文楽50 菅原伝授手習鑑				文楽手帖		①平成26年8月 ④角川学芸出版 ③角川ソフィア文庫。『あらすじで読む 名作文楽 50』を加筆修正のうえ再構成したもの
	浄瑠璃の一枚摺から（二） —「浄瑠璃文句穴さがし」—	参考	萩田清		国立劇場文楽公演解説書	第152回	①平成17年9月 ④日本芸術文化振興会
481	三代竹本越路太夫宛書簡	資料	杉山其日庵		国立劇場上演資料集	481	①平成17年9月 ④日本芸術文化振興会 ③大正11年3月御霊文楽座所演の「寺子屋」についての アドバイスに関する手紙と、12月5日付（年は不明） 「寺子屋」への注意に関する手紙
	頼もし勘十郎、玉女の成長	劇評	津田類		演劇界	第63巻 第15号	①平成17年11月（12月号） ④演劇出版社 ③平成17年9月東京国立劇場小劇場所演
	佐太村の河内地と義太夫節の 音楽様式	研究	山田智恵子		国立文楽劇場文楽公演解説 書	第102回	①平成18年4月 ④日本芸術文化振興会
	文楽・知識の泉⑪	鑑賞	高木浩志				

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	新・燕三登場、充実の『逆櫓』	劇評	廓正子		演劇界	第64巻 第9号	①平成18年5月（6月号） ④演劇出版社 ③平成18年4月国立文楽劇場所演
	ツバメが飛ぶ春	劇評	片山剛		上方芸能	161号	①平成18年9月 ④『上方芸能』編集部 ③平成18年4月国立文楽劇場所演
	近世演劇に描かれた菅原道真—浄瑠璃作品を中心に	研究	姚偉麗		言語と文化	19	①平成19年3月 ④文教大学大学院言語文化研究科付属言語文化研究所
	浄瑠璃の本いろいろ2—「夏祭浪花鑑」と「菅原伝授手習鑑」の絵本—	参考	荻田清		国立劇場文楽公演解説書	第160回	①平成19年9月 ④日本芸術文化振興会
	玉女の菅丞相が秀逸	劇評	津田類		演劇界	第65巻 第8号	①平成19年11月 ④演劇出版社 ③平成19年9月東京国立劇場小劇場所演
	義太夫節の音楽学的研究—歴史的音源で探る義太夫節の伝承	研究	垣内幸夫		國文學 解釈と教材の研究	10月臨時増 刊号（第53 巻第15号）	①平成20年10月 ④學燈社 ③特集〈文楽—人形浄瑠璃への招待—〉
	手薄な大夫陣に光明	劇評	津田類		演劇界	第67巻 第2号	①平成21年2月 ④演劇出版社 ③平成20年12月東京国立劇場小劇場所演
	古く、新しい、八重垣姫	劇評	片山剛・森田美芽		上方芸能	171号	①平成21年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成20年12月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	付録 『菅原伝授手習鑑 寺子屋の段』通称〈寺子屋〉「私の一作を」と言われたら、この演目を挙げます。それほど思い出深いです	芸談	《7》竹本住大夫		文楽のこころを語る		①平成21年1月 ④文藝春秋 ③文庫版。平成15年8月刊の単行本には未収録
	千代 菅原伝授手習鑑 寺子屋	解説 芸談	青木信二・小川知子・出上実＝写真 高木浩志＝文	桐竹紋壽	文楽人形之美 桐竹紋壽写真集		①平成22年6月 ④草場書房
	八重 菅原伝授手習鑑 佐太村						
	文楽・知識の泉⑳	鑑賞	高木浩志		国立文楽劇場文楽公演解説書	第119回	①平成22年7月 ④日本芸術文化振興会
	疾走する団七	劇評	亀岡典子		演劇界	第68巻 第10号	①平成22年10月 ④演劇出版社 ③平成22年7～8月国立文楽劇場所演
	夏の火花、雪の宿命	劇評	森田美芽 片山剛		上方芸能	178号	①平成22年12月 ④『上方芸能』編集部 ③平成22年7～8月国立文楽劇場所演
	平成22年下半年の関西公演評	劇評	青木繁		歌舞伎 研究と批評	47	①平成24年5月 ④歌舞伎学会 ③平成22年7～8月国立文楽劇場所演



上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第一章 尾崎升一良こと 七代竹本源大夫 * 七代源大夫襲名	芸談	《9》竹本源大夫 《2》鶴沢藤蔵		文楽の家		①平成23年3月 ④雄山閣 ③田口章子=編。大正11年3月《3》竹本越路太夫の代役(寺子屋) ③「道明寺」
	第五章 大夫修業 二 芸の習得 自習						
	大夫の語りありてこそ—竹本住大夫師に教えて頂いたこと—	鑑賞	高遠弘美		文学	第12巻 第2号	①平成23年3~4月 ④岩波書店 ③特集〈人形浄瑠璃・文楽のことばへ〉
	附録「太夫の語りありてこそ—竹本住大夫師に教えて頂いたこと」				七世竹本住大夫 限りなき 藝の道		①平成25年9月 ④講談社
	技芸員にきく 竹本住大夫	芸談	広瀬依子=聞き 手	《7》竹本住大夫	国立文楽劇場文楽公演解説 書	第125回	①平成24年1月 ④日本芸術文化振興会
	文楽・知識の泉34~名曲揃いで迎春	鑑賞	高木浩志				
	時代物・世話物・景事物 文楽を味わう一助になれば 菅原伝授手習鑑 佐太村				文楽に親しむ		①平成27年4月 ④和泉書院 ③「文楽・知識の泉34」を中心に加筆
	住大夫の桜丸切腹	劇評	宮辻政夫		演劇界	第70巻 第3号	①平成24年3月 ④演劇出版社 ③平成24年1月国立文楽劇場所演
	梅と桜、艶やかなる饗宴	劇評	森田美芽・片山剛		上方芸能	184号	①平成24年6月 ④『上方芸能』編集部 ③平成24年1月国立文楽劇場所演
	絶品、簀助のお里	劇評	富岡泰		演劇界	第70巻 第4号	①平成24年4月 ④演劇出版社 ③平成24年2月東京国立劇場小劇場所演
	高水準の熱演	劇評	宮辻政夫		演劇界	第70巻 第8号	①平成24年8月 ④演劇出版社 ③平成24年6月国立文楽劇場所演
	上方芸能風土記(22) 菅原伝授手習鑑	史跡	奥村功		上方芸能	185号	①平成24年9月 ④『上方芸能』編集部
	第四章 伝統芸能の現場から—危機を乗り越えて * 文楽昼夜「通し」上演	参考	山田庄一		上方芸能今昔がたり—昭和の舞台覚え書き		①平成25年3月 ④岩波書店 ③昭和47年5月東京国立劇場小劇場所演の通し上演
	第五章 文化は夜に作られる—去りし昭和、上方芸能への想い * 名人たちの思い出③—身近な人たちの死						③《4》竹本越路太夫、《1》吉田玉男
	第一章 住大夫師との出会い	鑑賞	高遠弘美		七世竹本住大夫 限りなき 藝の道		①平成25年9月 ④講談社
	第五章 一生が「修行」—名人への道						

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	通し路線の定着を望む	劇評	福本のりこ・片山剛		上方芸能	193号	①平成26年9月 ④『上方芸能』編集部 ③平成26年4月国立文楽劇場所演
	対談 桐竹勘十郎×吉田玉女	対談	小佐田定雄＝聞き手	《3》桐竹勘十郎・吉田玉女 （《2》吉田玉男）	文楽へようこそ		①平成26年4月 ④小学館 ③《3》桐竹勘十郎・吉田玉女（《2》吉田玉男）＝著
	勘十郎・玉女が解説する 私が好きな演目ベスト10 菅原伝授手習鑑 菅丞相・松王丸	解説 芸談	吉田玉女 （《2》吉田玉男）				
	松王丸（『菅原伝授手習鑑』 寺子屋の段）	鑑賞	《3》桐竹勘十郎		なにわの華 文楽へのいざない		①平成26年5月 ④淡交社
	勘十郎ばなし その三 * 人形役割の段 * 好きな役の段	芸談					
	菅原伝授手習鑑	解説			地方公演プログラム		①平成26年9月 ④文楽協会
	文楽を覗いてみよう！	芸談	佳山泉＝文/児玉寿美＝イラスト	《7》竹本住大夫			
					地方公演プログラム		①平成27年3月 ④文楽協会 ③平成26年9月の再掲
	菅原伝授手習鑑	解説					
	菅原伝授手習鑑	鑑賞	三浦しをん/訳		日本文学全集	10	①平成28年10月 ④河出書房新社 ③現代語訳
	鑑賞ガイド 第1部	解説			国立文楽劇場文楽公演解説書	第146回	①平成29年4月 ④独立行政法人日本芸術文化振興会
	ある古書店主と大学生の会話 ⑨～菅原伝授手習鑑～	解説	久堀裕朗				
	襲名記念インタビュー	芸談	坂東亜矢子/聞き手	《6》豊竹呂太夫			
	鑑賞ガイド1	解説			国立劇場文楽公演解説書	第199回	①平成29年5月 ④独立行政法人日本芸術文化振興会
	只管 六代豊竹呂太夫	芸談	坂東亜矢子/聞き手	《6》豊竹呂太夫			
	上演作品への招待	解説	児玉竜一				
	鑑賞ガイド1	解説			国立劇場文楽公演解説書	第210回	①令和2年2月 ④独立行政法人日本芸術文化振興会
	上演作品への招待	解説	児玉竜一				
	鑑賞ガイド 第1部	解説			国立文楽劇場文楽公演解説書	第161回	①令和3年1月 ④独立行政法人日本芸術文化振興会
	鑑賞ガイド2	解説			国立劇場文楽公演解説書	第215回	①令和3年2月 ④独立行政法人日本芸術文化振興会
	上演作品への招待	解説	児玉竜一				
	鑑賞ガイド 第1部	解説			国立文楽劇場文楽公演解説書	第165回	①令和4年1月 ④独立行政法人日本芸術文化振興会

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	菅原伝授手習鑑	解説	中西らつ子/ま んがイラスト 四方淑江/すじ がき 広永周三郎/英 文解説		地方公演プログラム		①令和5年3月 ④文楽協会